

マリアン 会報

発行 ノートルダム女子大学同窓会

母校新館完成!!

ー学長と役員との座談会よりー

今回の会報のトップニュースとして、昨年より建築中の新学舎について学長よりお話を伺いました。学長と役員との対談の様子は次のとおりです。

役員 まず新館の場所と内容について説明していただけますか。

学長 場所は大学の敷地の一

番東側に、建坪八七一・

五〇平米、四階建（四階は半分）で、延三三八七平米の白いレンガづくりの建物になります。一、

二階は、一般教室および生活文化関係で、被服、調理研究室とオフィス、それに心理学関係の研究室となっています。

三階は主に英文科用で、最新式のL・L教室とスタジ

オ、AVセンターなどがあります。ここには種々の録音されたテープを収納するテープライブラリ

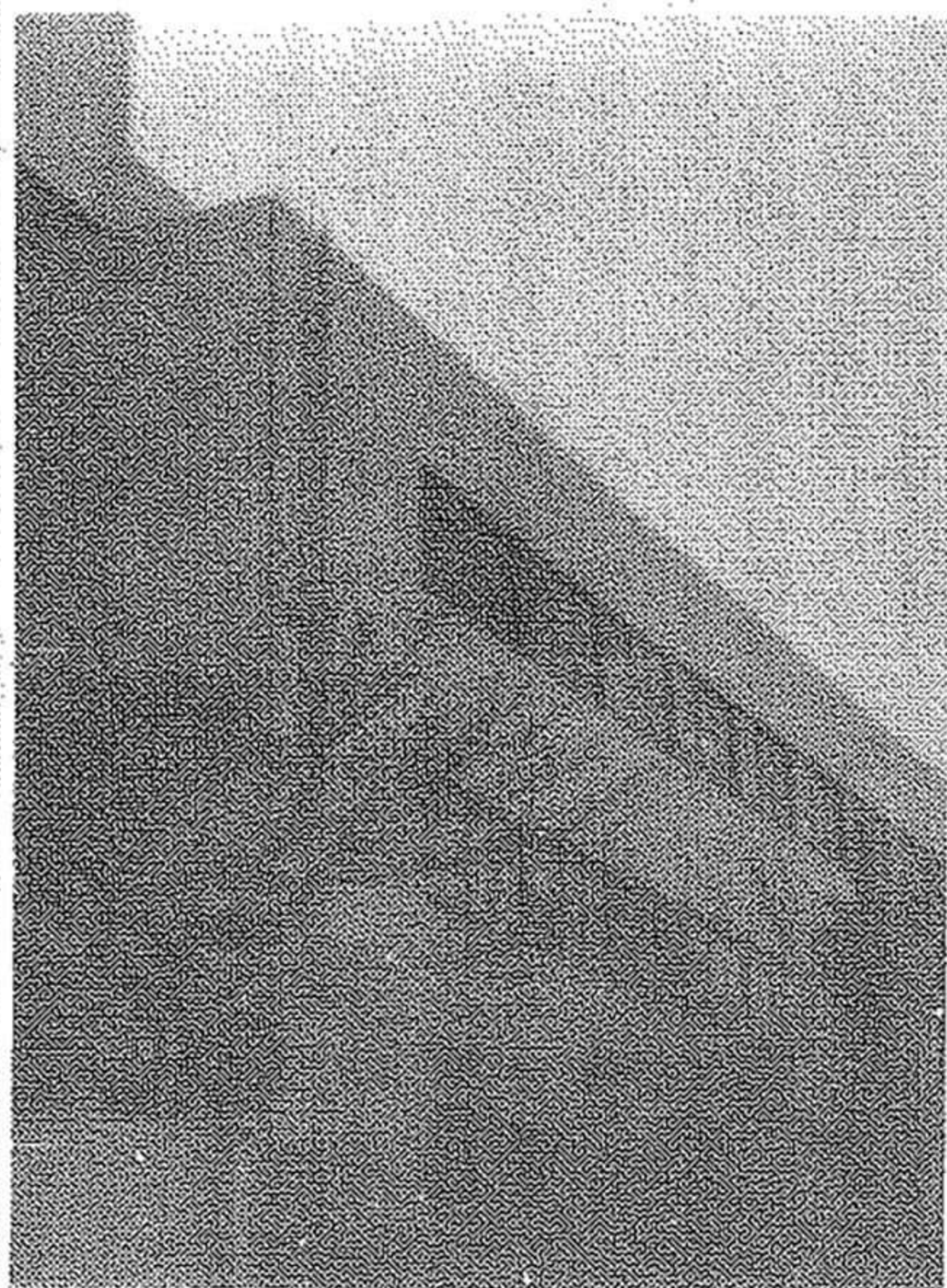
ーがあり、それらを使って自学独習する設備がととのっています。又、スタジオは、演劇、中継録画、講演、映画の上映、スライド鑑賞も出来る多目的ホールです。調整室には最新式視聴覚機が入っていて、短波で世界中の放送が聞けるのですよ。役員 これらの設備を、同窓会も使わせていただけるのでしょうか。



学長 あいっている時間は、担当責任者の方たちに相談してみてもOKができましたら、使っていただいても結構ですよ。三階にはその外、英文学会室があり「インサイト」の事務局が置かれています。四階は、先生方の研究室となっています。

役員 これで大学としての設備は、大体整ったというところですか。

学長 建学当初と比べると、二十年の間に、建物も、内容もずい分充実してきましたが、あとまだ、体



育館ならびにクラブハウ
スが欲しいのです。土地
は西側にあるのですが、
建物に莫大な費用がかか
りますので……。

役員 これらの資金は、寄付
にたよっていらっしゃる
のでしょうか。

学長 今のところ、寄付はな
く、借入が主です。

役員 同窓会も、少しでもお
役に立てればよいので
す。

学長 皆様の御好意や御知恵
に期待しています。

役員 創立二十周年の記念式
典などは、なさるのでし
ょうか。

学長 あまり大層な行事をす
る余裕はないのですが、
せめて感謝の御ミサだけ
でもと考えると、五月二十
七日(雨天順延)、午後四
時半より、図書館前の野
外で行なう予定をしてお
ります。同窓会の方もど
うぞ御参加下さい。

祝御入会

本年度は、英文科一八八名
生活文化科八一名、計二六九
名が三月十二日に御卒業にな
り、同時に第十七期の同窓会
員となられました。御入会を
歓迎いたします。

これで同窓会の全会員数は
三一九四名となりました。



総会へのご案内

例年同窓会総会は、五月第
三日曜日と決まっていますが
今年は丁度大安に当り、ホテ
ルの受け入れ条件等が悪いの
で、変更させていただきまし
た。場所も最初はホテルを予
定していましたが、四月に新
館が落成しますので、久しぶ
りに母校で総会を行うことに
なりました。食事は京都ホテ
ルからの出張サービスです。
皆様お誘い合わせの上、御出
席下さい。

五十六年度総会

日時 六月七日(日)

十二時—三時

(十一時三十分受付)

場所 ノートルダム女子大学

会費 大人四五〇〇円

子供 一〇〇〇円

ベビシッター付

同封の返信用葉書は五月末
日迄に必着でお送り下さい。

出席の予定で急に都合が悪く
なられた場合は、六月五日迄
に下記の役員迄必ず御連絡下
さい。無断欠席の場合は、後
日会費をお納め下さい。

中島

所

ご寄付

おねがい

同窓会も皆様の御協力の御
蔭で徐々に活発になり、和気
合々とした雰囲気各活動が
行われています。

同窓会の目的は、相互の知
徳向上と親睦を計り、併せて
母校の発展に貢献する事です
今度の新館完成は、母校の発
展であり、同窓会にとりまし
ても喜ばしい事です。この喜
びを何か形に表わしたく役員

会で相談の上、御寄付を皆様
にお願いし、新館に役立てて
いただく事に決めさせていた
だきました。

誠に恐縮ですが、一口二千
円、何口でも御志しを同封の
振込用紙で、御送金御願いい
たします。(五月末日〆切)

一九八〇年九月十五日で、
私が京都へ来てからちょうど
三十一周年目になりました。
私がノートルダム女子学院と、
ノートルダム女子大学で、音
楽を教えてきましたこの年月
の間に、皆様との個人的な交
流によって、そして美しい日
本の文化を身をもって体験す
る事によって、私はとても豊



日本を
離れるにあたって

S. M. Helen



この頃の思い

新しく

呼びかけに

こたえて

S. M. セリーン

「七十年、八十年生きるとしても、その年月は、すみやかに過ぎ去り、わたしたちも消えうせる」(詩篇九十・十)という詩篇を祈っていた時、私は、自分が人生の午さがりを歩いているのだという、シヨックな実感に襲われたのです。それは、認めたくなくとも、直面しなければならぬ現実なのです。いつの間にか過ぎ去った今までの年月、思い返してみると、夢中で生きてきたように思います。しかし、「忙しい」という字が示すように、心を亡ぼしそうになるくらい「する」ことに、心を奪われていたのかもしれない。私は幸い人生の午前(そんなに早朝ではありません)に、神に出会うめぐみを受けました。その時以来、

神は、私と共に歩んで下さいましたし、「神がして下さらなければ……」と思うことが多くあり、神の寛大なほからい、今更のように有難く思わずにはいられません。神は私の内側に生き続け、私を今日まで生かして下さったのです。

修道院の中庭に雀が遊びに来ます。私達は、それを知ってパンをおいておきます。まず、一羽が偵察にきて、誰もいない、安全だとわかると、数羽の友を呼びに行きます。そして、みんな、喜々とパンを食べ、庭中わがもの顔に走りまわり、満足すると、さっと、飛び去って行くのです。そっと見られているとも知らずに！ 自由な屈託のない雀です。生かされるために必要なものは、自然に与えられているのだと思いました。「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父が、これを養っていてくださるのです」(マテオ六・二十六)というキリストのことばは真実

なのです。空の鳥をさえ養って下さる神は、人間を心にかけて下さらない筈はありません。母の胎内に生命が宿り、幼児がこの世に誕生し、すくすくと育つ「生」の神秘。神の摂理は、時には、理解できない不幸な苦しい現象として現われるかもしれませんが、静かに内省して、時が経つてみると、それは、結局、神の愛の業のあらわれだということとがわかってくるものです。私は、雀をみていると、「あなたも、鳥よりもすぐれたものです……明日のための心配は無用です……その日の労苦は、その日で十分です」(マテオ六・三十四)と、やさしく語りかけて下さる天の父の励ましのことばが、聞かえるように、御父に信頼してこれからの人生の午後を、あらたな気持ちで生きなければと思うのです。「する」ことばかりでなく、「ある」ことによつて。「神と共にいる」ことは、「したい」という、外への呼びかけに応じることにもなるのですから。私達は幸いです。しかし、

世界のどこかでは、その日の糧もなく、飢えと渇きの中で生死の境をさまよっている人々がいます。私達は恵まれた者として、富んでいる者として、何かを必要としている同胞の叫びに答えたいものです。私達に余裕があるからでなく、たとえなくても、あるものの中から、より困っている人があれば分ちあうこと、これはキリストの小さな兄弟に示す愛ではないでしょうか。悩み苦しむ小さい兄弟に、何らかの形で寛大に働きかけることは、「あなたがたが、わたしの兄弟たち、最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです」(マテオ・二十五・四十)と仰っているキリスト、私の中に生きて下さっているキリストの呼びかけにこたえることになるのです。

今、この学年の終りに、私の退職の時期がせまっております。アメリカの私の管区長様から一九八一年の夏に、アメリカ合衆国へ戻るようにとのお手紙をいただきました。皆様のお祈りと時折のお便りをお願い致します。それが、私への最大の贈り物であり、そのようにして頂ければ幸いです。

この短いメッセージの中で私を暖かく受け入れて下さりそして私を豊かにして下さいた一人一人の卒業生の方々に心からの感謝を述べたいと思います。

内に、そして、外に、時と場合に応じて、呼びかけにこたえながら、その日を精一杯に生きること、それが、私に残された人生の午後を悔いなく過ごすことになるのだと思う今日この頃です。

同窓会各種講習会案内

課目	講師	内容	日時・場所	申し込み先
P・H・Pの購読	シスター セリーン	P・H・Pによる現代問題等の英文和訳と内容についての討論 (日本語で行われます)	大学多用室 毎月第四月曜日 午前十時半～十二時	高山敦子
文学購読	シスター テレサ メリー	文学作品についての講義と内容についての討論 (英語で行われます)	大学 月二回 午前十時半～十二時	所明子
英会話	シスター ジーン	タイトルを決めてのスピーチや、フリーカンバセーション、能力に関係なく楽しく勉強できます。	大学 月二回 午前十時半～十二時	中島克子
造花	大村花子	ヨーロッパアンムードのシックな造花製作。 毎月課目を変えて行きます。	大学多用室 毎月第三水曜日 午前十時～十二時	大村花子
東京クラス	シスター セリーン	P・H・Pによる読書会	毎月一回 土曜日の午後	倉田葉子

- 各クラス受講料は無料
- 造花は材料費その他テキスト代のみ負担です。
- ベビーシッターは有料ですが、可能ですので前もって御連絡下さい。
- 御申込、くわしい日時・場所その他御質問は各責任者になさって下さい。

一九八〇年度

活動報告

六月。新旧役員引き継ぎ会

及び同窓会反省会

○新役員でスタート

新年度 予算案、活動

計画立案、作成

○本年より会計年度を

六月一日をもって開始

五月末日で終了とする。

七月。文化活動、各クラス計

画と交渉

八月。マリアン十号編集

九月。来年の総会の準備開始

○マリアン発送

十月。文化教養クラス開始

○関東支部同窓会に、先

生方と役員参加

十一月大学祭参加

ホームメイドケーキと

紅茶の模擬店で好評

○「大学創立時代」講演

中島会長一般学生生活

所副会長クラブ活動

○マリアンスカラシップ

授与

二月。学長と役員の座談会

新館増築について

○マリアン十一号編集

○新入会員への説明会

四月。マリアン、総会案内

新役員の信、不信任票

寄付金募集 等々発送

○マリアンスカラシップ

について再検討

五月。総会具体的準備

○文化教養クラス開始

六月。総会

ND 関東支部便り

昨年十一月、横浜の中華街で同窓会を開催しました。

学長様、石田（幸）先生、榊

田先生、シスター・メリー・

ヘレン及び役員の方々もわざわざ京都から列席して頂きました。

東京のシスター・ジョ

セフもお迎えして、約八十名の同窓生の子供達が、盛況のうちに楽しいひと時を過ごしました。

一期から十四期までの同窓生が集い、胸の名札を見て、若い後輩から「二期の方ですか？」と、尊敬と同情のまなざしで見られ、我ら中年卒業生は複雑な心境でした。

でも、こうして若い新しい後輩がふえる事は大変嬉しいことです。

関東にも、NDの名前が段々広がっていくことと思います。

今年の総会は、十一月二十九日（日）銀座の三笠会館を予定しています。

カレンダーに御記入下さい。

多くの方々の御参加を期待しております。

同窓会役員名簿

氏名	旧姓	卒業期
中島 克子	長谷川	1
所 明子	荒川	1
白井 君子	高田	1
辻 百合子	岩越	2
角野 理美	小島	3
高山 敦子	和泉	4
辻 美智子	磯田	4
中村 律子	竹内	1
石田 容子	青山	1
円谷 冴子	山蔭	2
森 洋子	伊藤	2
細川 晴代	島田	3
篠崎 加代子	尾崎	3
辻 美智子	磯田	4
杉崎 裕子	森田	4
柏岡 恭子	井上	5
秋山 厚子	山仲	5
小笹 依子	島津	6
森 保子	木下	6
竹林 恵美子		7
清水 みちこ	佐藤	7
坂 あや子	須川	8
後藤 節子		9
山下 咲子	下川	9

学年委員

会計

書記

副会長

会長

学年委員

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

氏名	旧姓
松田 和子	
中司 京	
小田 君子	
北沢 みよ子	山田
町田 裕子	
吉田 ゆき子	
青木 いずみ	
川上 いとこ	
水越 満喜子	
山田 和代	田中
菅井 典子	
西出 和代	
徳岡 たみこ	
松岡 陽子	
阪田 真琴	
吉田 温子	

卒業期	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16	17	17
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----



関東支部役員名簿

氏名	旧姓	卒業期
支部長 山崎 敦子	光石	2
副支部長 田中 宣子	田村	3
会計 初鹿 光子	本田	2
学年委員 細井 嘉代子	細井	1
柿原 百合子	小川	2
福永 寧子	根本	3
難波 栄子	平尾	4
多田 宏子	藤原	5
平 篤美	谷口	6
宮崎 純子	朝子	7
清水 美明	石田	8
今枝 倫子	植田	9
伊藤 桂子	福永	10
土屋 紀子	井上	11
渡辺 篤子	森	12
小笠原 由美子	壁	13
楠木 寿美子	東	14

新役員候補者

会長	副会長	書記	会計
所 明子 (第一期卒)	中島 克子 (第一期卒)	白井 君子 (第一期卒)	角野 理美 (第三期卒)
	辻百 合子 (第二期卒)	白井 君子 (第一期卒)	高山 敦子 (第四期卒)
		角野 理美 (第三期卒)	辻美 智子 (第四期卒)

会長 中島 克子

新設のノートルダム女子大学に第一期生として入学してから、早や二十年の歳月が流れました。当時のささやか乍ら、充実した大学の様子を思い出す時、設備も格段に整った、現在の学生さん達にも劣らぬ大学生活であったと、初期の卒業生と話し合っております。

二年間の会長の任務を務めさせていただきつくづく、同窓会員の間に、ND精神の健在を痛感いたしました。一緒に役員を務めました方々と共に、皆様の御協力を感謝し、今後の発展をお祈りいたします。

おねがい

五十五年度同窓会名簿代金未納の方が多数おられます。お近くの郵便局よりお振込み下さい。

御協力お願いします。住所変更された方も必ず新住所をお知らせ下さい。